

基本目標③

心豊かで文化を育む人づくりのまち

学校教育

- 令和2年度に市内全校児童生徒に一人1台のタブレットを整備しました。令和3年度は、授業においてICTの有効な活用を図るべく、学校と連携し、教職員を対象とした実践的な内容の研修を実施していきます。
- 昨年度はコロナ禍で派遣できませんでした中学2年生を対象とした広島研修を実施します。

生涯学習の推進

- 市民一人ひとりが各ライフステージに沿った「いつでも、どこでも、だれでも」が生涯を通じて学ぶことができる多様な学習機会や情報の提供に努め、市民相互の交流、地域や市民団体との連携を図り、市民が主体となった生涯学習活動ができる環境づくりを目指します。

青少年健全育成

- 子どもの人権問題やSNSを利用したことによるネットトラブル対策に関する啓発活動を行うとともに、地域の青少年健全育成活動関係者や教職員の協力のもと、巡回活動などを実施します。

スポーツの振興

- 生涯にわたって健康でいきいきと暮らすため、それぞれの体力に応じて、いつでも、どこでも、スポーツ活動を行うことができるように各施設の適正な管理に努めます。

文化芸術の振興

- 歴史民俗資料館の移転事業は、令和4年4月のリニューアルオープンに向けて図書館棟の改修工事を行い、歴史文化・観光など、幅広い情報の発信拠点となるべく、準備を進めていきます。

基本目標④

人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち

農業の振興

- 収益性の高い農産物の生産・販売、6次産業化への取り組みを、引き続き支援し、地元で採れた安全・安心な農産物の地産・地消を推進します。
- 令和3年度は、JAあいち海部が計画する鍋田カントリーエレベータの大規模改修を始め、農業者が行う農業用機械の更新などの支援を行います。
- 昨年、水稲被害が大きかったカメムシ対策として共同防除費用の一部について支援します。

商工業の振興

- 愛知県や名古屋港管理組合などと連携し、名古屋港に関連する物流関連企業などの誘致を進めます。

観光の振興

- 地場産業である金魚、三ツ又池公園における芝桜を観光資源の中心として活用し、心を癒やせる場となるよう環境整備に努めます。
- 海南こどもの国を会場とした「海南こどもの国秋まつり」を愛知県と共催し、金魚を始め、弥富の花や農産物などを、市内外へ情報発信できるよう、市観光協会の充実を図ります。

消費者対策

- 海部地域消費生活センターを中心として、海部地域の市町村と連携し、消費者教育・啓発や情報提供の強化、消費生活相談体制の一層の充実を図ります。



弥富の金魚拡散大作戦

基本目標⑤

良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち

下水道整備

- 公共下水道事業については、市街化区域および人口集中地域を重点整備区域とし、効率的な公共下水道整備とコスト縮減の取り組みを進め、今後も供用区域を拡大し、普及率の向上を図るとともに接続促進に努めます。

道路網の整備

- 都市計画道路名古屋第3環状線および弥富名古屋線などの道路整備促進を関係機関へ積極的に要望します。
- 木曽川高潮堤防未整備区間の整備に併せて、国道1号の尾張大橋架け替えを含む国道1号の4車線化の早期事業採択ならびに、大規模災害時の避難および救命・救護活動などに必要となる地域高規格道路一宮西港道路の早期実現に向けて関係機関へ積極的に要望します。

弥富駅周辺環境の充実

- JR・名鉄弥富駅自由通路および橋上駅舎の整備については、北口駅前広場の整備に向け、関係機関などと調整を進めます。
- 都市拠点となる弥富駅周辺については、関係住民の皆さんとまちづくりについて、勉強会を継続していきます。
- 鉄道駅周辺地区に隣接する車新田地区においては土地区画整理事業の可能性を検討していきます。

交通網の充実

- コミュニティバスについては、令和2年度末に改訂の地域公共交通計画に基づき、令和3年度から順次、各ルートの再編を行います。
- 令和3年度には、南部ルートの再編を予定しており、南部地域の皆さんより切望されております朝夕の通勤・通学などのための移手段として、バス1台を増車して、朝夕の急行便の社会実験運行を実施します。

新たな活力の創出

- 南部地区において工業系用地の需要増大に対応するため、都市計画マスタープランにおいて新産業エリアに位置付けられた地区の工業系まちづくりの可能性を検討します。
- 令和4年4月開業予定の名古屋競馬場については、地域貢献、賑わい創出を呼び込むチャンスとして捉え、引き続き愛知県競馬組合に対して、賑わい交流拠点として魅力ある施設になるよう要望していきます。

港湾地域等の整備促進

- 新たな耐震強化岸壁を備えたコンテナターミナル第4バース、第5バースの整備や、鍋田ふ頭東側に名古屋港内における恒久的な施設として選定された魚釣り施設の整備について、事業が早期に実現されるよう、引き続き名古屋港管理組合を始めとする港湾関係団体に要望していきます。

基本目標⑥

市民と行政がつながり、共につくるまち

持続的な行財政運営

- 公共施設等総合管理計画などの見直しをするとともに、定期的な点検や診断結果を踏まえて、予防保全に努めることで、施設に係るライフサイクルコストの縮減に取り組みます。
- 自主財源の確保に向けて、ふるさと納税の返礼品を充実させ、市の魅力を幅広く発信しながら、多くの寄付をいただけるよう引き続き取り組みます。

市民協働の推進、コミュニティの強化

- 令和3年度においては、コロナ禍の「新しい生活様式」に基づく感染防止対策を徹底し、市民や団体の皆さんと情報共有を図り、市民協働の推進に努めます。

情報の共有

- 積極的な情報発信により双方向の情報共有を図り、「広報やとみ」や「市ホームページ」などを充実させるとともに、ユーチューブを始めとするSNSなどを活用し、あらゆる世代の方々に市政に対して関心を持っていただけるよう、効果的な情報発信と内容の拡充に努めます。